

各地域メディア連携協議会 の取組状況について

【本資料の位置づけ】

各地域で実施しているメディア連携協議会（地域により呼称は異なる）の取組状況や参加者・事務局の意見やニーズ、特徴的な取組等を紹介。

地域メディア連携協議会におけるニーズや課題を本プロジェクトの推進に向けた参考とする。

各地域メディアの取組状況

- ・局単位のみならず、県単位、水系単位の活動を行っている地域もある。
- ・近年の主な議題は、防災用語や河川情報の説明・解説、直近水害の振り返り、現地見学会、合同会見デモ・訓練 等

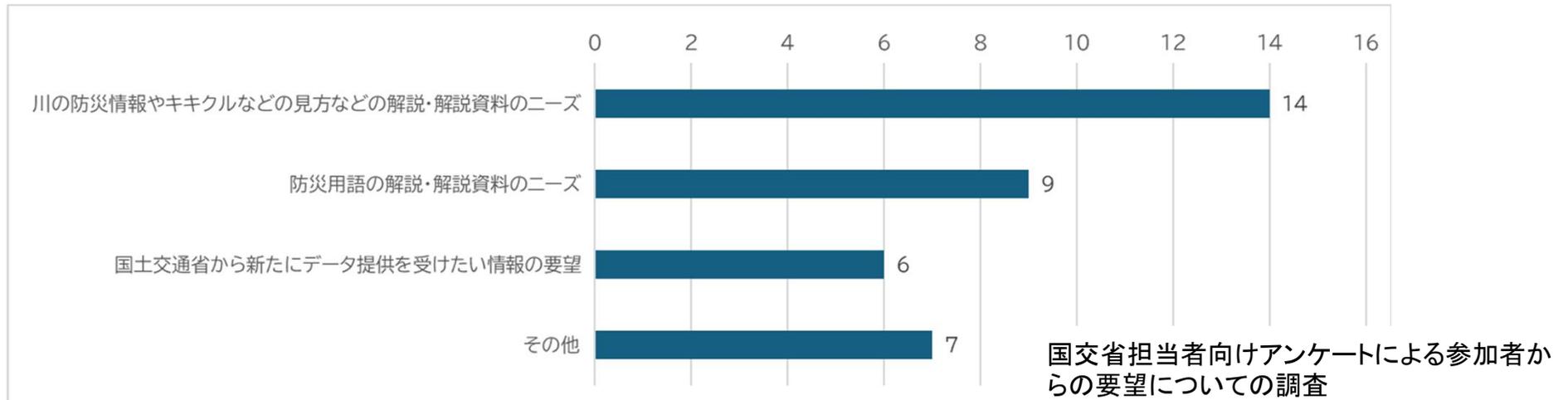
➤ 各地域の開催状況と主なテーマ

整備局	協議会の単位	特徴的なテーマ・議題(取組紹介は共通して実施) 下線は次ページ以降で紹介
北海道開発局	局単位	<ul style="list-style-type: none"> ・現地見学(気象観測機器、河川) ・北海道防災情報システムによる防災情報の取得方法 ・アンケートの実施結果報告
東北地整	県単位	<ul style="list-style-type: none"> ・防災用語の解説にかかるニーズ調査 ・高校生に向けた防災教育の実施 ・合同会見訓練
関東地整	局単位	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会の開催(九州災害情報(報道)研究会) ・荒川3D洪水浸水想定区域図の紹介 ・ケーブルテレビの取組事例報告
北陸地整	県単位	<ul style="list-style-type: none"> ・合同会見デモンストレーション ・<u>現地視察(排水機場、河川情報管理室、水位観測所等)</u> ・SNSによる防災情報の発信
中部地整	局単位 ※過去に県でも実施	<ul style="list-style-type: none"> ・河川情報や用語の解説、基礎知識の説明 ・<u>河川カメラのうち、重点的にチェックしているカメラについて</u>
近畿地整	県・水系単位 ※局単位でも実施	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の目標・振り返り ・現地見学会 ・試験的取組(番組での防災情報提供、インフラツアー、報道・中継訓練、専門職員の解説)の報告 ・<u>SNSによる防災情報の発信</u> ・<u>地域防災力の向上に向けたラジオ局等との連携</u> ・<u>地区名、河川名、施設名、観測所名等ふりがな一覧の提供</u>
中国地整	局単位	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会の開催(九州災害情報(報道)研究会) ・現地勉強会
四国地整	局単位	<ul style="list-style-type: none"> ・会見訓練 ・<u>四国水害リスクライブ配信ホームページ(メール配信機能)の紹介</u>
九州地整	県・事務所単位	<ul style="list-style-type: none"> ・合同巡視の紹介 ・出水時のSNSでの情報発信の対応

協議会参加者(メディア側)からのご意見・ニーズ

- ・川の防災情報やキキクルなどで提供される防災情報の見方や、防災用語の意味・解釈・読み方などに関する情報提供のニーズが高い。
- ・その他意見・ニーズとして、カメラ映像提供、新技術の情報提供、情報共有方法、現場見学会など。

➤ 国交省への要望・ニーズ(主な意見)



➤ 国交省への要望・ニーズ(アンケート自由回答・会議※での主な発言)

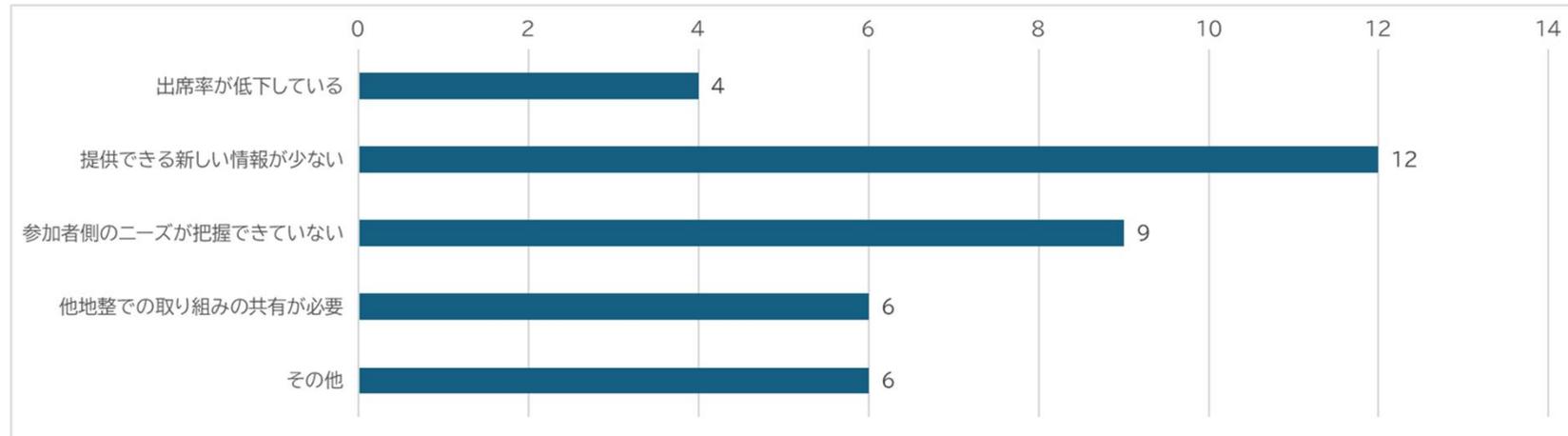
分類	要望・ニーズ
防災用語や提供される防災情報等の解説	<ul style="list-style-type: none"> ・防災用語の正確な意味、解釈、読み仮名に関する情報提供 ・キキクルの見方や水位の考え方に関する解説 等 ※ 上記のグラフも参照
CCTV・河川カメラ映像	<ul style="list-style-type: none"> ・河川以外(道路、砂防、ダム、ヘリ画像 等)のカメラ画像の提供 ・動画配信の死活状況に関する情報の提供 等
防災関係の新技術	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する新技術を活用した取組(ドローンやAIなど) 等
情報共有方法	<ul style="list-style-type: none"> ・FAXではない情報共有・一元化の方法(新たな情報基盤の活用) ・SNSを用いた情報共有・発信 等
現場見学会・勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察会は取材機会があるので参加しやすい ・災害発生後、時間を置かずに行政とメディアで課題を議論する場が必要

※各地域の地域メディア連携協議会における議事録や、議事概要、会議報告等より

協議会事務局(国土交通省側)の課題認識

- ・協議会で提供する新しい情報がなく、参加者が求めている情報が把握できていないという意見が多い。
- ・協議会運営として、全国統一のテーマ設定や他地整の取組などの共有を希望。

➤ 事務局として課題として感じていること(主な意見)



国交省担当者向けアンケートによる事務局側の意見についての調査

➤ その他意見(アンケート自由回答・会議※での主な発言)

- ・全国的なテーマや資料提供があるとよい。
- ・他地整での取組や協議会開催テーマなどを共有してもらえるとありがたい。
- ・協議会の参加者と顔が見える関係を作っていきたい。

地域防災力の向上(メディア連携)に向けた取組

・普及啓発(ラジオで専門家解説、防災ハンドブック等を共同作成)、情報提供、訓練等でラジオ局等のメディアと連携している。

事例:ラジオ局等との連携:近畿地整(滋賀県域メディア連携協議会)

第1回滋賀県域メディア連携協議会 資料
滋賀県防災危機管理局

地域防災力の向上(メディア連携)に向けた取組

普及啓発

しがマイ・タイムライン(NHK)

- ・NHKと協同で作成
- ・NHK番組で放送予定



防災TALKINGBOOK(エフエム滋賀)

生活の中にある防災について、ゲストを招いてラジオ放送(4回)



防災ハンドブック(エフエム滋賀)

- ・作成への協力
- ・出前講座などの際に配布



情報提供

・L(Local)アラートにより、県・市町が発出した避難指示、避難所開設などの災害関連情報をはじめとする公共情報をメディアに対して一斉送信

訓練

・毎年実施する滋賀県総合防災訓練において、メディア連携により訓練状況の取材・収録、実況アナウンス、特別番組の制作などを実施(過去、NHK、BBC、KBS、エフエム滋賀が参加)

協定

・災害対策基本法第57条に規定する放送要請
県とNHK、BBC、KBS、エフエム滋賀等とで協定を締結(昭和54年、平成8年)

地域防災力の向上(メディア連携)に向けた取組

・協議会にて、メディア(ケーブルテレビ)における災害発生時の実際の動きや明らかになった課題を紹介。

事例:ケーブルテレビの取組事例報告:関東地整

東松山ケーブルテレビ

大雨当日の取材の動き

午前中	特別な気象警戒の予報なし
夕方	異常な雨の降り方を体感
17時58分	気象庁より東松山市に記録的短時間大雨警報
18時ごろ	出社している社員で取材班・メンテ班を作成
19時~23時	自社Twitterで大雨に関する情報を発信

今回の報道による成果と今後の課題

成果

- ・災害報道実施の認知度、地元メディアとしての信頼度アップ
- ・Twitterのフォロワー数の大幅な増加
- ・自社独自の災害報道マニュアルの作成
⇒制作以外の社員への【災害報道】の意識づけ
- ・2022年7月12日以降の災害報道実施
⇒マニュアルを作ったことで社員の動きがスムーズに

課題

- ・コミチャンにおけるリアルタイム災害報道の社内体制作り
- ・災害発生時の報道体制確立の不安定さ
- ・災害報道終了のタイミング

ゆずの里ケーブルテレビ

2022年7月12日 当日発信したSNS 公式Twitter・Facebookにて発信



エリア内の道路や川の状況などを撮影時間とともに発信
翌日冠水により営業できなかったお店の情報なども発信しました

2022年7月12日の大雨被害を受けて SNSだけでなくコミチャンでもリアルタイムの情報を



災害時にどのような人員を確保できるかわからないため、誰でもなるべく簡易的にコミチャンとYouTubeライブで映像・音声LIVEをお届けできる仕組みを構築

◆スタジオで出演者が話しながら現場の映像やレポートなどが生放送できる仕組み



マニュアル作成
スタッフ向けに社内研修会も開催

NHKとの災害時の映像提供における連携協定締結 入間ケーブルテレビグループ(入間・東松山・ゆずの里・エフエム茶筌)



【2023年1月19日締結】
災害時等に入間ケーブルテレビグループの定点カメラの映像を提供する番組・SNS用に撮影した映像を提供するほか



【2023年2月10日】
関東に大雪警報が出たことに伴い積雪の映像などを提供
当日の首都圏ネットワークで使用していただきました

出水時に河川管理者が着目するポイント紹介

・中部地整では、協議会参加者に対して、河川管理者目線でのカメラの重点チェックポイントを共有している。

事例:河川カメラのうち、重点的にチェックしているカメラについて:中部地整(令和4年勉強会資料)

多治見観測所

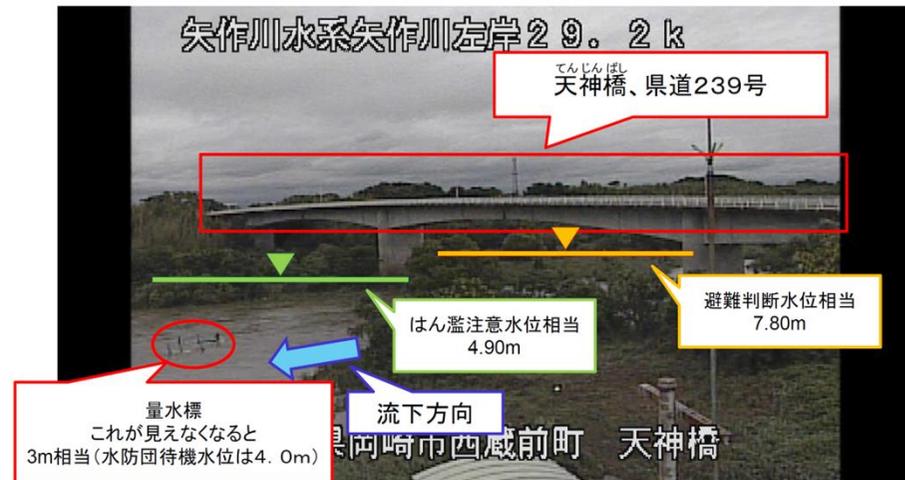
国土交通省
【機密性2】
作成日_作成担当課_用途_保存期間



体制時によく見る理由、見るべきポイント
 ・水防警報を発令する水位観測所があるため。
 ・重要水防箇所でありいっそう危険な箇所のため。
 ・水防上危険箇所である。

天神橋

国土交通省
【機密性2】
作成日_作成担当課_用途_保存期間



体制時によく見る理由、見るべきポイント
 水防警報を発令する水位観測所があるため。

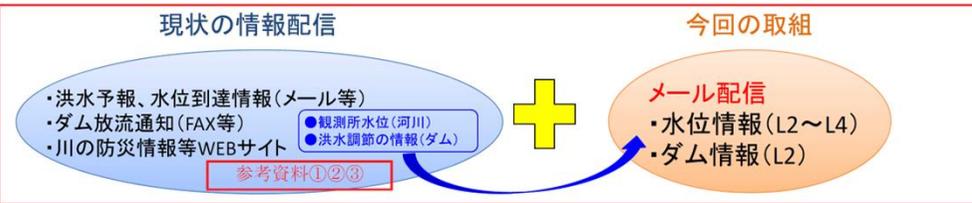
メディア向け情報共有基盤の構築

・四国地整では、メディア等関係者に対して水位情報に応じたメールの自動配信を行っている。

事例：四国水害リスクライブ配信ホームページ(メール配信機能)：四国地整(令和6年資料)

メール配信機能実装の背景

■洪水時における河川やダム状況の把握について、独自にシステム構築される等、既に対応されている機関もあると思いますが、そのようなシステムが整っていない機関においても情報の取り逃がしが無いよう、河川水位、ダム情報について、希望する機関を対象にサービス情報としてメール配信を開始します。
⇒このメール配信を活用し、各機関における各種対応等の支援に繋がる事を期待



メール配信項目

●水位情報

レベル(河川)	水位	タイミング
レベル2	氾濫注意水位	水位の超過・下降時
レベル3	避難判断水位	同上
レベル4	氾濫危険水位	同上

●ダム情報

レベル(ダム)	ダム操作	配信タイミング
レベル2	防災操作(洪水調節)	操作開始・終了

3.メール配信内容(案) 水位情報

■L2~L4の水位到達情報を超過、または下回ったタイミングにて自動配信します。
■通知はシステムにより自動配信しますが、確実に通知できる事を保証できるものではありません。

メール機能(水位)のメール文(イメージ)

水位超過時

件名：河川水位アラート(メディア連携懇談会)

本文：
河川水位のアラートのお知らせです。
下記の観測所がレベル2相当の水位に到達しました。
今後の河川の情報に注意してください。

観測所：池田(無堤)
河川名：吉野川
観測時間：2022/9/19 14:10
観測水位：6.73m
氾濫注意水位：6.7m

[四国水害リスクライブ配信ホームページ](#)

※本メールには返信できません。

四国メディア連携懇談会 事務局
国土交通省 四国地方整備局
企画部 企画課
〒760-8554 高松市サンポート3-33

水位低下時

件名：河川水位アラート(メディア連携懇談会)

本文：
河川水位のアラートのお知らせです。
下記の観測所がレベル2相当の水位を下回りました。
今後も河川の情報に注意してください。

観測所：池田(無堤)
河川名：吉野川
観測時間：2022/9/19 20:00
観測水位：6.66m
氾濫注意水位：6.7m

[四国水害リスクライブ配信ホームページ](#)

※本メールには返信できません。

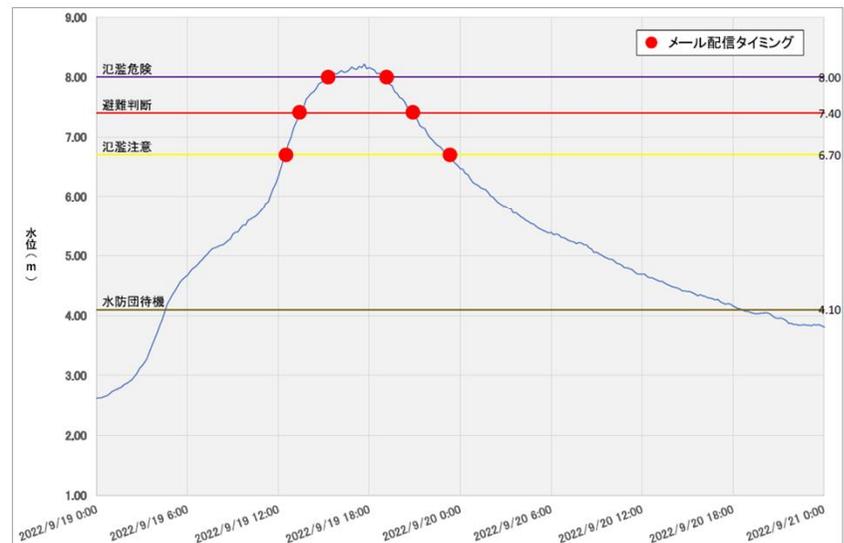
四国メディア連携懇談会 事務局
国土交通省 四国地方整備局
企画部 企画課
〒760-8554 高松市サンポート3-33

5.参考(水位情報のメール配信イメージ図)

■L2以上の水位到達情報を超過、または下回ったタイミングにて自動配信します。
■通知はシステムにより自動配信しますが、確実に通知できる事を保証できるものではありません。

【参考イメージ(河川水位)】

水位に応じて超過、低下を機械的に配信
※超過、低下情報が複数回配信される場合があります



地名等の読み仮名の正確性向上の取組

・地区名、河川名、施設名、観測所名等のふりがなを一覧でメディアに提供している。

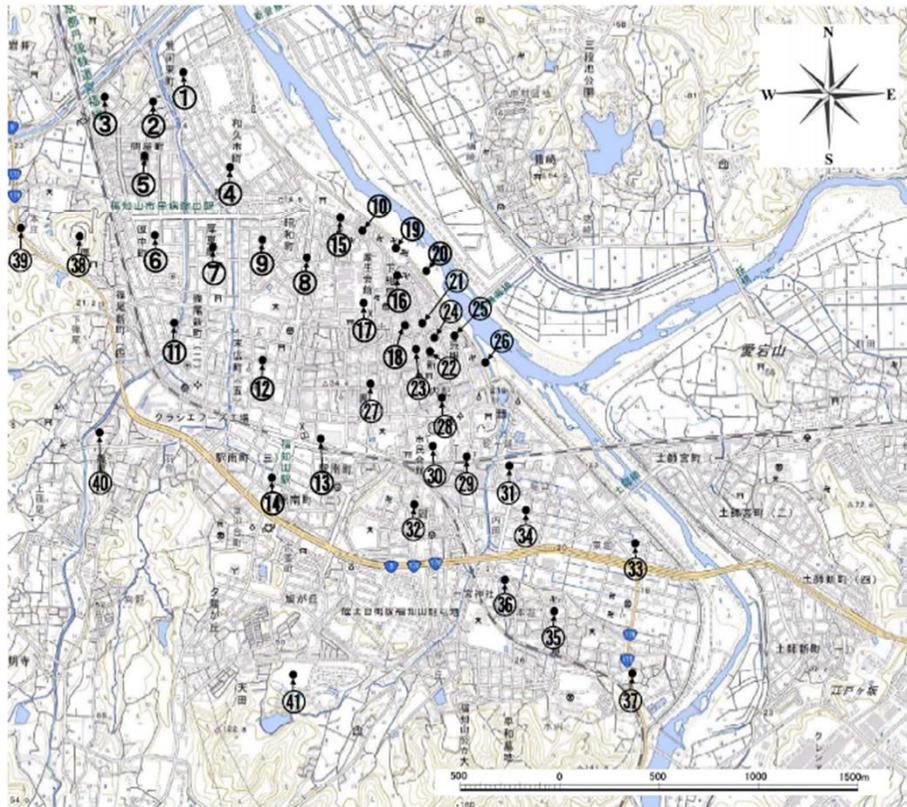
事例:地区名、河川名、施設名、観測所名等ふりがな一覧の提供:近畿地整(由良川)

参考資料4-2

地区位置図及びよみがな一覧

福知山市街地

No.	名称	ふりがな	No.	名称	ふりがな	No.	名称	ふりがな
①	荒河東町	あらがひがしまち	⑩	下船屋	しもふねや	⑲	西ノ三町	おかのさんまち
②	荒河東町	あらがひがしまち	⑪	中ノ町	なかのまち	⑳	西ノ上町	おかのうえまち
③	岩井東町	いわいひがしまち	⑫	上船屋	かみふねや	㉑	東船	ひがしふね
④	和久東町	わくいちちよう	⑬	船屋	ふねや	㉒	船口	ふねぐち
⑤	船屋町	ふねやまち	⑭	下船	しもふね	㉓	本船	ほんふね
⑥	船中町	ふねなかつまち	⑮	下船	しもふね	㉔	船前	ふねまへ
⑦	船東町	ふねひがしまち	⑯	上船	かみふね	㉕	船西	ふねにし
⑧	船和町	ふねわちちよう	⑰	船西	ふねにし	㉖	船津	ふねつ
⑨	船和東町	ふねわひがしまち	⑱	西船	にしふね	㉗	船津	ふねつ
⑩	船	ふね	㉘	西船	にしふね	㉘	船	ふね
⑪	船屋町	ふねやまち	㉙	船	ふね	㉙	船	ふね
⑫	本船	ほんふね	㉚	船	ふね	㉚	船	ふね
⑬	船中町	ふねなかつまち	㉛	船	ふね	㉛	船	ふね
⑭	船東町	ふねひがしまち	㉜	船	ふね	㉜	船	ふね
⑮	船和町	ふねわちちよう	㉝	船	ふね	㉝	船	ふね
⑯	船和東町	ふねわひがしまち	㉞	船	ふね	㉞	船	ふね
⑰	船西	ふねにし	㉟	船	ふね	㉟	船	ふね
⑱	船西	ふねにし	㊱	船	ふね	㊱	船	ふね
⑲	西ノ三町	おかのさんまち	㊲	船	ふね	㊲	船	ふね
⑳	西ノ上町	おかのうえまち	㊳	船	ふね	㊳	船	ふね
㉑	東船	ひがしふね	㊴	船	ふね	㊴	船	ふね
㉒	船口	ふねぐち	㊵	船	ふね	㊵	船	ふね
㉓	本船	ほんふね	㊶	船	ふね	㊶	船	ふね
㉔	船前	ふねまへ	㊷	船	ふね	㊷	船	ふね
㉕	船西	ふねにし	㊸	船	ふね	㊸	船	ふね
㉖	船津	ふねつ	㊹	船	ふね	㊹	船	ふね
㉗	船津	ふねつ	㊺	船	ふね	㊺	船	ふね
㉘	船	ふね	㊻	船	ふね	㊻	船	ふね
㉙	船	ふね	㊼	船	ふね	㊼	船	ふね
㉚	船	ふね	㊽	船	ふね	㊽	船	ふね
㉛	船	ふね	㊾	船	ふね	㊾	船	ふね
㉜	船	ふね	㊿	船	ふね	㊿	船	ふね
㉝	船	ふね						
㉞	船	ふね						
㉟	船	ふね						
㊱	船	ふね						
㊲	船	ふね						
㊳	船	ふね						
㊴	船	ふね						
㊵	船	ふね						
㊶	船	ふね						
㊷	船	ふね						
㊸	船	ふね						
㊹	船	ふね						
㊺	船	ふね						
㊻	船	ふね						
㊼	船	ふね						
㊽	船	ふね						
㊾	船	ふね						
㊿	船	ふね						

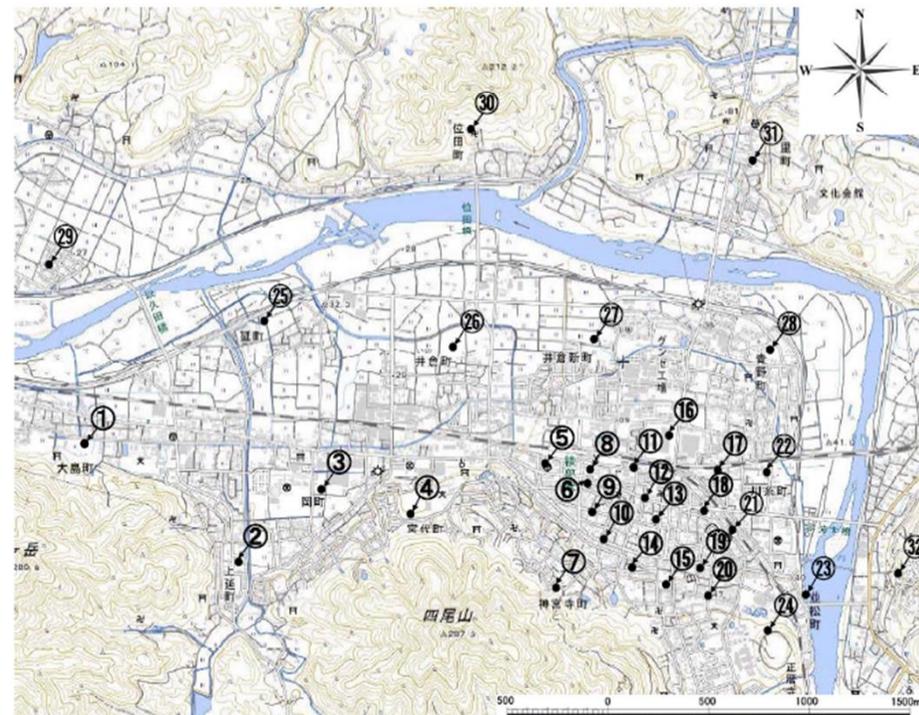


参考資料4-3

地区位置図及びよみがな一覧

綾部市街地

No.	名称	ふりがな	No.	名称	ふりがな	No.	名称	ふりがな
①	大島町	おおしまちよう	⑩	西町	にしまち	⑳	里町	さとちよう
②	上延町	うわのぶちよう	⑪	綾中町	あやなかつちよう	㉑	味方町	みかたちちよう
③	岡町	おかちよう	⑫	若松町	わかまつちよう			
④	宮代町	みやしろちよう	⑬	新宮町	しんぐちちよう			
⑤	津邊	さいわいどおり	⑭	新町	しんまち			
⑥	広小路	ひろこうじ	⑮	若竹町	わかたけちよう			
⑦	神宮寺町	じんぐうじちよう	⑯	川奈町	かわなちちよう			
⑧	新筋通	えきまえどおり	⑰	並松町	なまつちちよう			
⑨	中ノ町	なかのちよう	⑱	本宮町	ほんぐちちよう			
⑩	本町	ほんまち	㉒	延町	のぶちよう			
⑪	天神町	てんじんちよう	㉓	井倉町	いのくらちよう			
⑫	西新町	にししんまち	㉔	井倉新町	いのくらしんまち			
⑬	相生町	あいおいちよう	㉕	青野町	あおのちよう			
⑭	月見町	つきみちちよう	㉖	栗町	くりちよう			
⑮	田町	たまち	㉗	信田町	いでんちちよう			



現場見学会・現地視察

・各協議会で現場見学会や現地視察が実施され、参加者からの意見では「取材の機会となる」「施設の役割が理解できた」など高評価。

事例：地域メディア連携協議会現地視察会：北陸地整金沢河川国道事務所（令和6年現地視察会資料）

令和6年度 地域メディア連携協議会 現地視察会



～「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」における
流域治水の取組について～

「地域メディア連携協議会」の取り組みの一つとして、メディアの皆さんに梯川で進めている流域治水対策について理解を深めていただくことで、地域特性を踏まえたより切迫感のある情報発信につなげるとともに、地域メディアとの連携強化を図ることを目的として、現地視察会を開催しました。



↑ 九竜橋川排水機場（小松市）での視察

令和6年度 現地視察会の概要

- 日 時 令和6年8月27日（火） 9:30～11:30
- 場 所 梯川水系緊急治水対策プロジェクト整備箇所
- 参加団体
【メディア機関】 石川テレビ放送、テレビ金沢
【行政機関】 金沢河川国道事務所、石川県、小松市
- 視察箇所
①【小松市】 九竜橋川排水機場（ポンプ増強）
②【石川県】 今江潟排水機場（木場潟事前排水）
③【国交省】 梯川左岸7.2K付近
（梯川引堤、河道掘削、橋梁架替）

参加メディアからの主な意見

- ・実際に現地を見て、その場で説明してもらうことができて、大変勉強になった。



← 今江潟排水機場（石川県）での視察



梯川（国交省）での視察 →

SNSを活用した住民向けの情報発信

・各地整・事務所では、SNS(主にX(Twitter))での住民向け情報発信を積極的に実施している。

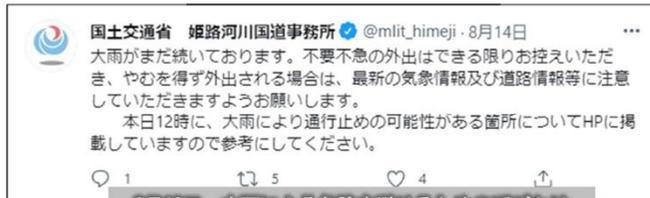
事例：SNSの積極活用事例：近畿地整(姫路河川国道事務所)

②行政機関によるSNS公式アカウントを通じた情報発信の強化

②8 SNS等での防災情報発信及びリツイート

E: 災害情報メディア連携プロジェクト
～災害情報の入手を容易にするためのメディア連携の促進～

○7月、8月の大雨時には、姫路河川国道事務所の公式Twitter アカウントで防災情報を発信。
○加古川大堰の放流や、「川の防災情報」の活用、降雨量に伴う通行止めなどについて、ツイートにて情報発信を行った。



Q1. 協議会参加団体の行政機関(※1)では、「X(旧Twitter)」等のSNSアカウントで平常時・緊急時の情報発信を行っています。SNSの活用について、選択、記入をお願いします。

アンケート内容	機関名						
	毎日放送	読売新聞	ラジオ関西	JCOM	BAN-BAN ネットワークス	姫路ケーブルテレビ	ベイ・コム
(2) 猪名川河川事務所のアカウントをフォロー	×	×	×	×	×	×	×
(3) 姫路河川国道事務所のアカウントをフォロー	×	×	×	×	×	○	×
(4) 豊岡河川国道事務所のアカウントをフォロー	×	×	×	×	×	×	×
(5) 気象庁のアカウントをフォロー	×	○	×	×	×	○	×
(6) 兵庫県のアカウントをフォロー	×	○	×	×	○	○	×
(7) 行政機関の投稿について、リポスト等の実施	④実施していない	①実施している(平常時の情報発信のみ)	—	④実施していない	②実施している(緊急時の情報発信のみ)	③実施している(平常時・緊急時の情報発信の両方)	④実施していない



業団体加盟企業へのアンケート調査

主に下記を目的に業界団体向けのアンケートを実施
(ポイント)

- ◆ 国交省の発信する情報の報道への活用状況
- ◆ 国交省の情報発信サイトへの要望
- ◆ 各社の防災気象情報や水災害の啓発にかかる取組内容把握

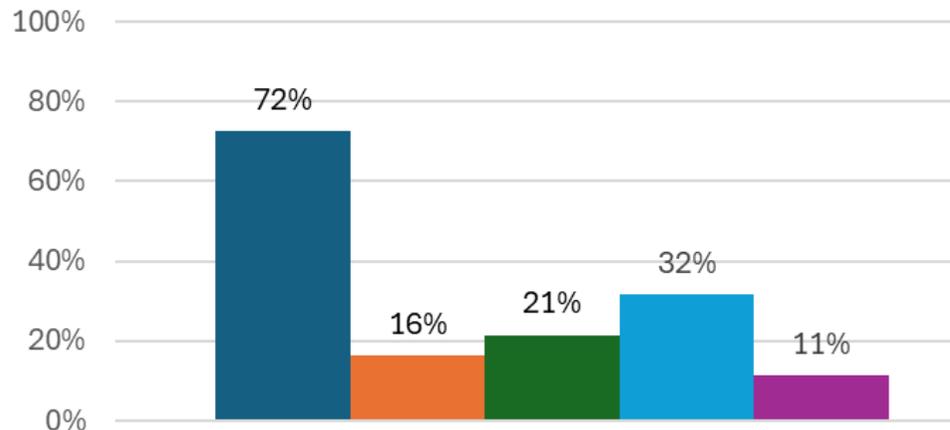
日本民間放送連盟へのアンケート調査

【日本民間放送連盟】

アンケート回答者数:98

- 過去災害の周年特集等の取組が多い
- キキクルと川の防災情報の活用実績が多い

近年3年の関連取り組み



民放連

- 過去の災害発生日前後での特集等による啓発
- 防災にかかる冊子・パンフレットなどの作成
- 防災イベントの企画
- その他
- 実施なし

その他の取組

- 災害・防災関連番組等:12
- 広告・啓発コンテンツ発信:7
- 啓発コンテンツ作成:3
- 防災関連イベント出展:1
- 河川カメラ映像等配信:0
- 他:10

防災気象情報や水災害の啓発に係る情報発信・普及に係るの近年3年の取組実施状況について

情報発信サイトの放送での活用状況（民放連）



- 活用している（コンテンツを表示・操作するなど放送で活用）
- 活用している（表示はしていないが情報源として活用）
- 今後活用したい
- 活用の予定はない

国土交通省が公開している災害時の情報発信に係るサイトの放送への活用状況

福島中央テレビ、KFB福島放送、
TUFテレビユー福島、FTV福島テレビ

県内放送局での啓発CMキャンペーン。
「守ろう命！マイリスク マイ避難」
福島県内5局コラボ水害防災キャンペーン



<https://www.youtube.com/playlist?list=PLaqSqj9eodOlnIEbb7uPmGrzosc2alEv>

北海道放送

ラジオ防災特別番組や防災に役立つ情報提供サイト(北海道防災チャンネル)



HBCウェザーセンター 防災士の近藤肇さんと、
札幌市西区の三角山放送局社長の杉澤洋輝さん、
そしてやまねでお送りした今回の特別番組。

企画する上で、今回みなさんと一緒にやりたかったのが、
「ハザードマップ」を確認すること。



実際にスタジオ内でも自分のスマホで
国土交通省の「[重ねるハザードマップ](#)」というサイトを使って
自分の住んでいる地域を見ました。



<https://www.hbc.co.jp/bosai/>

<https://www.hbc.co.jp/radio/carnavi/article.html?id=11734>

日本民間放送連盟 会員企業の取組

千葉テレビ放送、ベイエフエム

3社連携による防災企画



千葉県メディア3社連携企画

お知らせ 2024.09.17



千葉テレビ放送 千葉日報社 ベイエフエムの3社では、テレビ・新聞・ラジオという特性の異なる3社が連携することで災害時に有益な情報を県民に的確に届けることを目的に【災害時報道連携協定】を2020年3月に締結しました。この企画は、その協定の一環として行っているものです。

<https://www.chiba-tv.com/info/detail/84731>

信越放送

防災減災に関する知識をまとめた下敷きを作成し、子供たちに配布

SBC Presents

信州のこどもたちの夢を応援します。

イベント

ホーム > イベント

こどもフェスタ

毎年3月に、長野市のSBC本社&TOIGOで開催！アナウンサーや美容師などの憧れのおしごとを体験したり、ものづくりの楽しさを学んだり...ふだん経験できない「ホンモノの体験」を通して、こどもたちの夢を育みます。

防災・減災キャンペーン

こどもたちの安心・安全を願い、防災・減災についてこども向けに分かり易く掲載した下敷きを作成し県内の全ての小学1年生に配布します。

<https://sbc21.co.jp/kodomo-mirai/kosodate.php>

日本民間放送連盟 会員企業の取組

J-WAVE

防災関連番組



防災キャンペーン

STAY READY WITH J-WAVE

～安全な未来のために～

今年1月に発生した能登半島地震をはじめ、度重なる台風や大雨の被害、首都直下型大地震や南海トラフ大地震への警戒も相まって、首都圏を中心にこれまで以上に防災意識が高まっています。災害はいつ起こるかわかりません。だからこそ、日々の備えが大切です。J-WAVEでは、防災に関する最新情報、役立つヒント、緊急時の対応方法など、知っておきたい防災情報を各ワイド番組を中心に発信していきます。

キャンペーン期間 **8.30 FRI - 9.5 THU**

CONTENTS

- 番組発信の防災情報
ON AIR INFO
詳しく見る →
- 災害に備える準備と知識
KNOWLEDGE
詳しく見る →
- 防災の参考になるサイト
LINKS
詳しく見る →

番組発信の防災情報

https://www.j-wave.co.jp/special/2408_stayready/

アプリ開発



Groupair+

トップ GroupairPlusとは 特徴紹介 導入事例 よくあるご質問 お問合せ・資料請求

自治体・地域団体の防災情報や地域情報を、音声や文字情報で住民にお届けするコミュニケーションサービス

地域はもっとつながる

NEW! — 防災アプリでラジオが聴ける! —



コミュニティFM聴取機能を搭載!

行政・地域情報を発信するアプリとコミュニティFMとの連携により自治体独自の防災アプリとしてご提供致します。地域密着型の情報から緊急時の防災行政無線放送まで確実に情報伝達することができます。

ローカルメディア × 防災アプリ Groupair+

コミュニティFM × Groupair+

市内雨量状況はこちらから

管理画面からのお知らせ
さくステようこそ! 10ヶ所よりお知らせ!

メッセージ 購読情報
スケジュール アンケート
FM放送 防災アプリ

最新10件表示(作成日順)
これは強制送付です。

↑ UPI 平時活用によるアプリダウンロード率向上

Groupair+が課題を解決できる

4つのポイント

- POINT 1 地域メッシュ型で情報発信
- POINT 2 自動再生付き音声送受信
- POINT 3 地縁の垣根を超えたグルーピング
- POINT 4 多彩なコミュニケーション

<https://www.j-wavei.jp/>

日本民間放送連盟 会員企業の取組

株式会社エフエム熊本、株式会社熊本放送、

エフエム滋賀

災害発生時の企業間協定

FMK エフエム・クマモト

NEWS RELEASE

2024年8月29日

報道各位

甚大な災害発生時における在熊ラジオ局の 相互協力に関する協定の締結について

株式会社エフエム熊本、株式会社熊本放送、株式会社熊本シティエフエムの熊本の民間放送ラジオ局3社は、熊本県内に甚大な災害が発生した場合、もしくは隣県で起きた災害が県内にも大きな影響を及ぼした場合、3社が相互に協力して、被害情報をそれぞれの放送エリア内の県民に提供し、被災地域の安全確保と復旧支援に尽力するための「甚大な災害発生時における在熊ラジオ局の相互協力に関する協定」を8月27日に締結いたしました。

3社は、1997年から9月1日 防災の日の前後にNHK熊本放送局や県内のコミュニティFM放送局と協力し「防災 命のラジオ」を制作・放送しています。この取り組みをさらに進めるため、今年で28回目となる放送を前に、協定を結びました。

具体的には、甚大な災害発生時に3社のディレクター・リポーターなどが局の垣根を越えて出演し、災害情報を伝えることや、3社が機材を都合し合うなど、互いの放送の維持をはかることを柱とし、災害時の協働体制の強化を図っていきます。

この一環として、8月29日（木）の生ワイド番組「FMK RADIO BUSTERS」18時20分頃に、熊本放送の森明子気象予報士が電話で出演、台風10号に関する情報を伝えています。



(びぶれすイノベーションスタジオ（熊本市中央区）での調印の様子)

【お問い合わせ先】

株式会社エフエム熊本 編成制作部 伊佐坂功規 〒860-0001 熊本県熊本市中央区千葉城町 5-50
TEL : 096-353-3131 FAX : 096-355-5632 メールアドレス : info_kmmt@fmkumamoto.jp URL : https://fmk.fm/

<https://fmk.fm/guide/outline/news/2408291.pdf>

ハンドブック作成・防災関連番組

e-radio

e-radio- × SDGsへの取組み

地域の放送局として、防災・減災や環境保持活動などを放送やイベントを通して聴取者の皆さんに積極的な情報提供を行ってまいりましたが、その他にもたくさんの取組みを行っています。

◇「家族で読めるやさしい防災ハンドブック」の発行



エフエム滋賀では「家族で読めるやさしい防災ハンドブック」を県内の小学3年生以上全員に毎年1回（9月）に配布しています。家族で防災を考える「防災マニュアル」として県内での認知度も高く、小学校以外でも多くの場面で活用されています。

◇「防災ラジオ滋賀」の放送



県内のラジオ放送局が共同制作する特別番組を毎年2月に放送しています。公共性の高い特別番組の制作と同時に防災啓発キャンペーンも実施しています。

<https://www.e-radio.co.jp/pdf/sdgs.pdf>



日本民間放送連盟 会員企業の取組

広島テレビ放送

防災イベント等の開催



毎年のように自然災害に見舞われる現代、災害
 広島テレビは、被害を最小限に抑え
 復興後のまちづくりを事前に
 平時から役立つ防災情報を届け、
 県民・行政・企業“みんなで”新次

いま動こう! みんなぞ防災フェス

入場
無料

イベント

エキキタで防災を学ぶ1日!

2024年11月3日(日)10:00~16:30

会場:広島テレビ1F&エキキタレ

イベントは終了しました

テーマ「見直す」

元日の能登半島地震を目の当たりにして、災害はいつ起きてもおかしくないと再認識しました。
 あらためて「いま動こう!」の原点に戻り、災害の備えを見直し、発信の仕方を考えます。
 それぞれの防災への考え方を見直しもらえるようなコンテンツを含めて実施します。

詳細はこちら >

新

2022.9.22 大崎上島町と防災パートナーシップ

2022.7.14 「災害伝承碑マップ」メニューを追加

2022.6.14 神石高原町と防災パートナーシップ

森の防災教室 in 尾長

イベント

「森を知る」「森に入る」「森を使う(無駄にしない)」

森と防災のつながりを考える1日!

2024年10月13日(日)9:30~14:30

場所:尾長山(尾長天満宮 鎮守の杜)

イベントは終了しました

気象予報士・防災士・野菜コーディネーターの3つの顔を持つ、
 広テレビ気象キャスター「てらもっちゃん」こと、寺本卓也気象予報士と
 「エキキタ広テレビ」すぐそば「尾長山(二葉山)」で親子で森林保全体験をしませんか?
 てらもっちゃんの防災教室・園遊・クラフト体験など楽しみながら、一緒に森から防災を学びましょう!

詳細はこちら >

<https://www.htv.jp/minnadebousai/>

会員企業の取組

熊本放送、テレビ熊本、熊本県民テレビ、熊本朝日放送

熊本のNHKや・民放4社で早期避難を呼びかけるCMキャンペーン



この防災キャンペーンは、

2020年の7月豪雨災害を教訓に、在熊のNHKと民放4社が
 災害時の早期避難や日頃の備えを呼びかけようとし

キャンペーン期間

5月29日(月) ~ 9月30日(土)



<https://rkk.jp/switchon/>

日本民間放送連盟へのアンケート調査結果

【日本民間放送連盟：記述式ご意見の内容分類】

アンケート回答者数：98

情報提供サイト（川の防災情報、キキクル、浸水ナビ、リスクライン）へのご意見・ご要望					
情報の一元配信	予測情報等の提供	利用方法 ・特徴の解説	わかりにくい ・使いにくい	キキクルの広告除外	その他
3	2	2	7	3	9

国交省が配信する情報でリアルタイム情報に係る対象情報・映像の拡充や、配信方法などに対するご意見・ご要望					
カメラ箇所数増	カメラ高解像度化	河川カメラ の動画配信	河川監視目的以外の カメラの拡大	映像コンテンツの共 有・配信の仕組み	その他
7	3	1	7	4	19

合同記者会見へのご意見・ご要望								
リモート参加 環境要望・賛 成	動画配信	(即時の) 資 料データ提供	開催回数増	開催の周知強 化	全国向けと地 域向けの差別 化	簡潔な解説	開催時間の変 更	その他
5	2	11	3	4	4	3	2	10

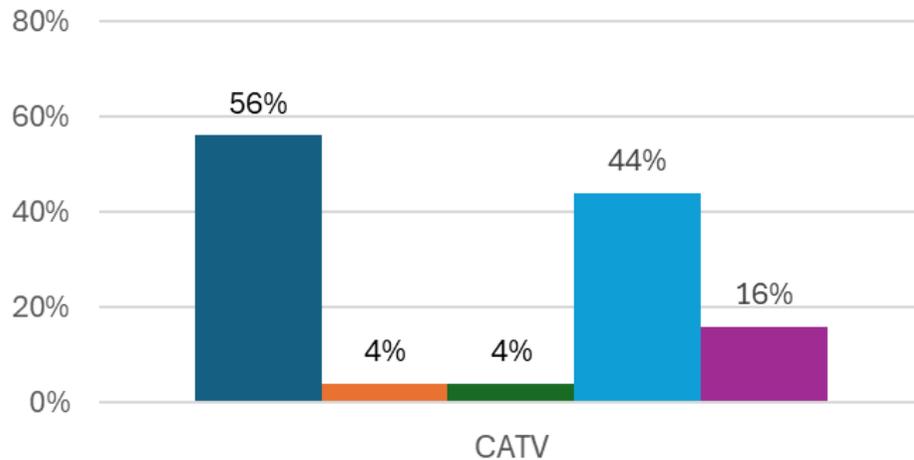
日本ケーブルテレビ連盟へのアンケート調査

【日本ケーブルテレビ連盟】

アンケート回答者数:25

- 過去災害の周年特集が半数以上、その他の取組も多い
- キキクルと川の防災情報の活用実績が多い

近年3年の関連取り組み

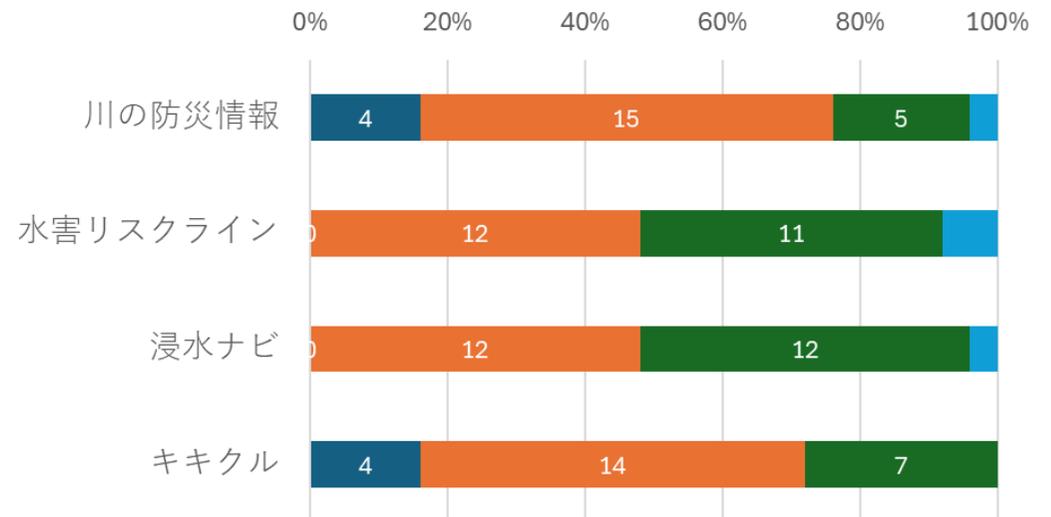


- 過去の災害発生日前後での特集等による啓発
- 防災にかかる冊子・パンフレットなどの作成
- 防災イベントの企画
- その他
- 実施なし

その他の取組

- 災害・防災関連番組等:4
- 広告・啓発コンテンツ発信:1
- 啓発コンテンツ作成:1
- 防災関連イベント出展:1
- 河川カメラ映像等配信:4
- 他:3

情報発信サイトの放送での活用状況 (CATV)



- 活用している (コンテンツを表示・操作するなど放送で活用)
- 活用している (表示はしていないが情報源として活用)
- 今後活用したい
- 活用の予定はない

防災気象情報や水災害の啓発に係る情報発信・普及に係るの近年3年の取組実施状況について

国土交通省が公開している災害時の情報発信に係るサイトの放送への活用状況

日本ケーブルテレビ連盟 会員企業の取組

ジェイコム札幌

防災等にかかる地域の取組を定期的に配信

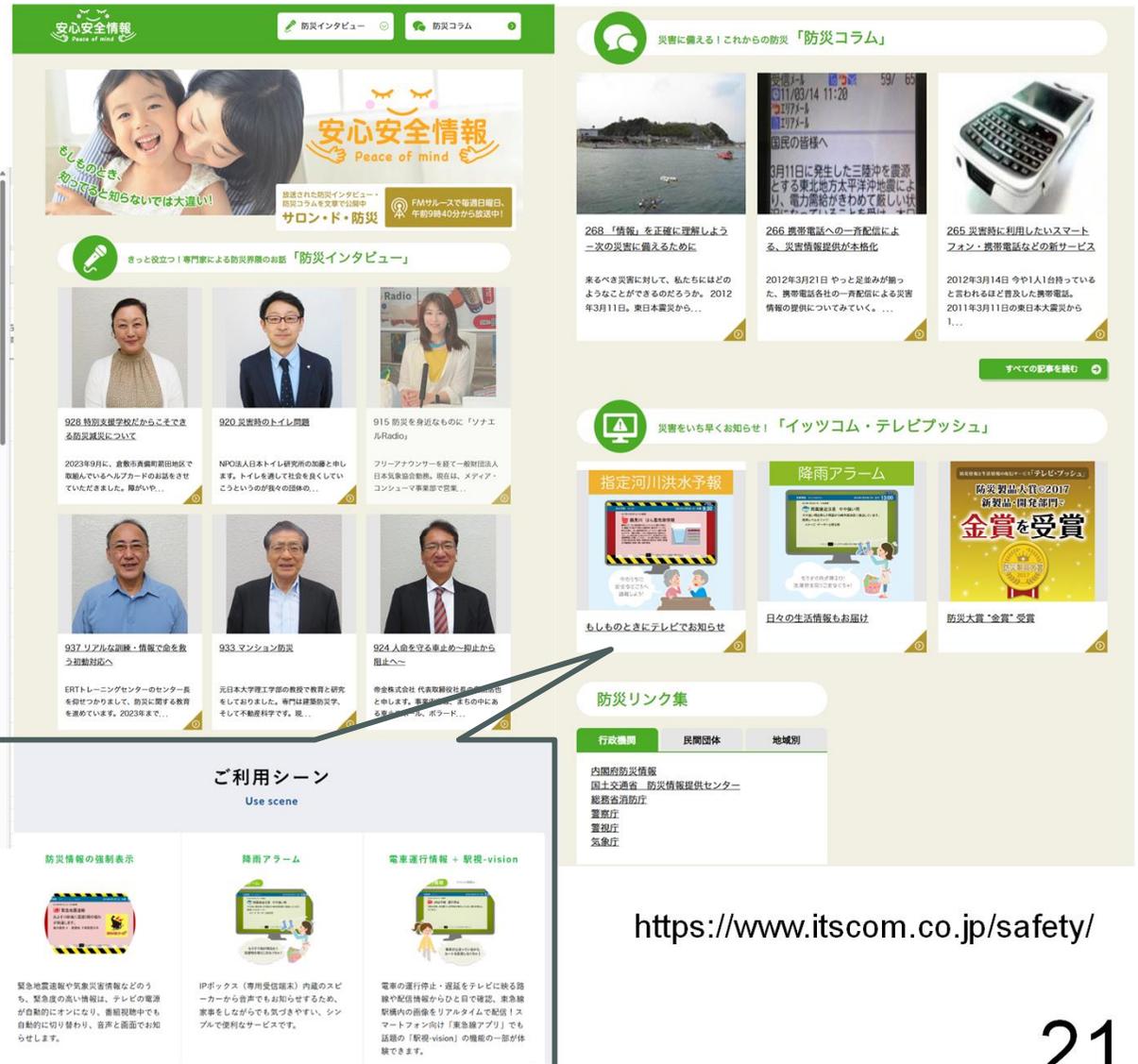
記者が取材した地域情報を配信



<https://note.jcomdlocal.jp/>

イツツ・コミュニケーションズ株式会社

防災にかかる各種専門家への防災インタビューや防災コラム、情報発信サービス

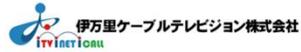


<https://www.itscom.co.jp/safety/>

日本ケーブルテレビ連盟 会員企業の取組

伊万里ケーブルテレビジョン

防災チャンネルでの河川カメラ放映・啓発動画放映



申込みページ 会社案内 マイページ
採用情報 地域貢献事業 法人のお客様

お問合せはお気軽にどうぞ
0120-46-1780
【営業時間】 月曜～土曜 9:00～18:00 (日祝除く)

ご加入を検討中のお客様 ▼ ご利用中のお客様 ▼ コミュニティチャンネル ▼ ライブカメラ ▼
ホーム・ライブカメラ河川情報

情報ライブカメラ

河川情報 道路情報

提供：国土交通省武雄河川事務所 佐賀県土木整備部砂防課

※約20秒おきに、画像を自動で更新しています

1 大川町明鳴	2 大川町大川野排水機場	3 大川町大川野川西橋	4 松浦町橋ノ川橋
5 伊万里湾	6 伊万里川 岩築	7 新田川 黄金橋	8 有田川 長井手

株式会社ケーブルワン

防災関連情報の放送や防災情報リンク集 (国交省サイトへのリンク等)



ケーブルテレビ インターネット 固定電話 スマートフォン コミュニティチャンネル 番組表 よくある質問 お問い合わせ

その他の防災情報リンク集

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>■ 六角川流域カメラ
※情報提供：国土交通省武雄河川事務所、国土交通省のPCサイトへジャンプします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 瀬見橋 (武雄市橋町) ☞ 高橋水門 (武雄市朝日町) ☞ 新橋 (武雄市北方町) ☞ 大西 (杵島郡江北町) ☞ 住ノ江橋 (杵島郡白石町) ☞ その他の六角川流域カメラへ | <p>■ 河川雨量・水位計
※情報提供：国土交通省武雄河川事務所、国土交通省のPCサイトへジャンプします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 鳥海<雨量> (武雄市山内町) ☞ その他の松浦川流域情報へ ☞ 武雄<雨量> (武雄市武雄町) ☞ 矢筈<雨量> (武雄市西川登町) ☞ 白石<雨量> (杵島郡白石町) ☞ その他の六角川流域情報へ |
| <p>■ 六角川流域カメラ
※情報提供：国土交通省武雄河川事務所、国土交通省のPCサイトへジャンプします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 武内<水位> (武雄市武内町) ☞ 杉橋<水位> (武雄市武雄町) ☞ 高橋<水位> (武雄市朝日町) ☞ 瀬見橋<水位> (武雄市橋町) ☞ 新橋<水位> (武雄市北方町) ☞ 六角橋<水位> (杵島郡白石町) | <p>■ ウェザーニュース
※情報提供：国土交通省武雄河川事務所、国土交通省のPCサイトへジャンプします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 天気予報 ☞ 雨量レーダー ☞ 台風 ☞ 地震 ☞ PM2.5 (佐賀県のサイトへ) |



<https://www.cableone.ne.jp/disaster-prevention/>

https://i-catv.jp/river_camera/

日本ケーブルテレビ連盟 会員企業の取組

株式会社キャッチネットワーク

防災に役立つ情報発信

この街に笑顔をもっと。 **KATCH** 株式会社キャッチネットワーク

新規加入ご検討の方 | ご利用中のお客さま | 0120-2-39391 | よくある質問 | 検索

サービス一覧 | 地域・番組情報 | 企業情報 | お問い合わせ | 法人のお客さま

防災情報

HOME > 地域・番組情報 > 防災情報

万一の災害に備えて、「今」できる準備を

その日はいつ来るかわかりません。災害時の情報発信をはじめ、日頃の防災活動に役立つ情報をご紹介します。防災の備えとして、ぜひお役立てください。

KATCH気象情報

ライブカメラ

ライブカメラで地域の状況をチェック！

地域に設置したライブカメラ映像をリアルタイムで配信いたします。気象や災害の状況確認にご利用ください。

① 柏の森カメラ | ② 刈谷寺高須町(鎌倉川) | ③ 赤木の森カメラ

道路・駅を見る

- ① 西尾駅(鎌倉川)
- ② 西尾駅前(鎌倉川)
- ③ 西尾駅前(鎌倉川)
- ④ 西尾駅前(鎌倉川)
- ⑤ 西尾駅前(鎌倉川)
- ⑥ 西尾駅前(鎌倉川)
- ⑦ 西尾駅前(鎌倉川)
- ⑧ 西尾駅前(鎌倉川)
- ⑨ 西尾駅前(鎌倉川)
- ⑩ 西尾駅前(鎌倉川)

海・河川を見る

- ① 刈谷寺高須町(鎌倉川)
- ② 刈谷寺高須町(鎌倉川)
- ③ 刈谷寺高須町(鎌倉川)
- ④ 刈谷寺高須町(鎌倉川)
- ⑤ 刈谷寺高須町(鎌倉川)
- ⑥ 刈谷寺高須町(鎌倉川)
- ⑦ 刈谷寺高須町(鎌倉川)
- ⑧ 刈谷寺高須町(鎌倉川)
- ⑨ 刈谷寺高須町(鎌倉川)
- ⑩ 刈谷寺高須町(鎌倉川)

確認しましょう ハザードマップ

ハザードマップで災害リスクを確認！(谷・安城・高浜・加立・鎌倉・西尾の資料まとめ)

このページでは、愛知県刈谷市・豊橋市・浜岡町・知立市・豊橋市・西尾市のホームページから「地震ハザードマップ」

防災お役立ち情報 | ハザードマップ | ライブカメラ

<https://www.katch.co.jp/community/prevention/>

ケーブルテレビ株式会社

ライブカメラ情報の発信

ケーブルテレビ株式会社

番組紹介 | 放送予定・履歴 | 出演者プロフィール | CM・広告募集 | 放送中のCM | プロモーション動画 | お問い合わせ

トップページ > ライブカメラ

ライブカメラ

Live Camera

柏木

① 巴波川(室町) | ② 永野川(箇部町 陸橋上流) | ③ 永野川(箇部町 陸橋下流)

④ 箱森交差点 | ⑤ 国道50号 道の駅みかも | ⑥ 大柿十字路口

<https://www.cc9.jp/livecamera/>

日本ケーブルテレビ連盟へのアンケート調査結果

【日本ケーブルテレビ連盟：記述式ご意見の内容分類】

アンケート回答者数：25

情報提供サイト（川の防災情報、キキクル、浸水ナビ、リスクライン）へのご意見・ご要望

情報の一元配信	予測情報等の提供	利用方法・特徴の解説	わかりにくい・使いにくい	キキクルの広告除外	その他
0	1	1	1	0	2

国交省が配信する情報でリアルタイム情報に係る対象情報・映像の拡充や、配信方法などに対するご意見・ご要望内容分類

カメラ箇所数増	カメラ高解像度化	河川カメラの動画配信	河川監視目的以外のカメラの拡大	映像コンテンツの共有・配信の仕組み	その他
0	1	1	5	2	3

合同記者会見へのご意見・ご要望内容分類

リモート参加環境要望・賛成	動画配信	(即時の) 資料データ提供	開催回数増	開催の周知強化	全国向けと地域向けの差別化	簡潔な解説	開催時間の変更	その他
2	1	1	0	0	0	0	0	4

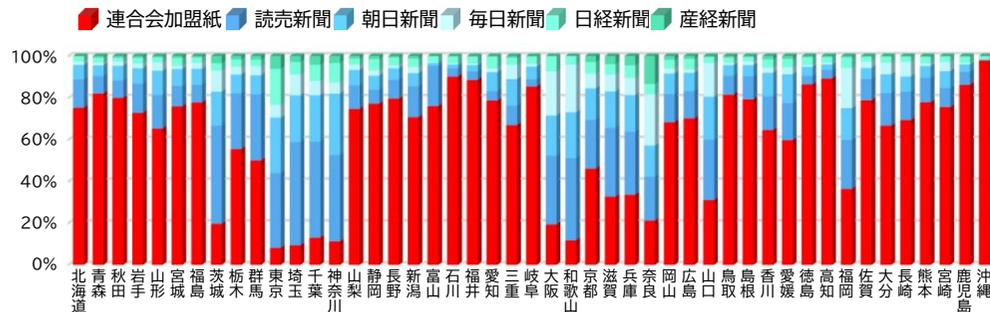
全国地方新聞社連合会とは

地域での高い情報発信力と伝達力を有し、
地域（生活者）に密着した身近で影響力あるメディアです

連合会の 影響力

地域で影響力を有する地方新聞社
連合会は日本全体への影響力を有する

全国47都道府県の
8割でシェア率トップ
総発行部数 約1,290万部



出典：日本ABC協会2022下期

地方紙の 強み

各地方新聞社が有する地域での影響力をベースに、
個々の“強み”を結束し、47都道府県における強靱な
地方新聞社力を発揮する

メディア連携

新聞紙面にとどまらず
地元民放局(TV・ラジオ)や
WEB・SNS等による情報を発信



コーディネート

地域で信頼ある地方新聞社が
地域のステークホルダーを
テーマに応じてコーディネート



コンサルティング

地域の課題解決に向け
地域実情に応じてカスタマイズして
コンサルティング



地方新聞社の地域ネットワーク網

地方新聞社は県内の生活者へ情報をお届けするため、
緻密な取材ネットワーク網を有しております

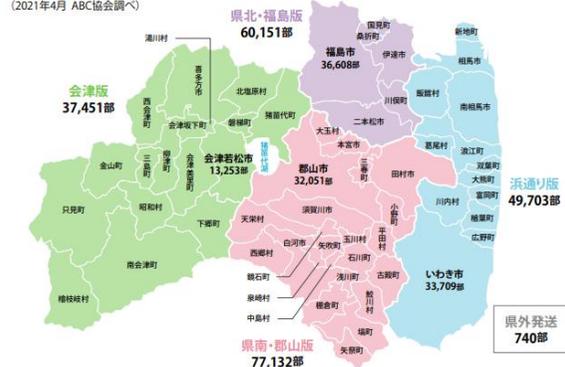
福島民報社の事例

福島県ナンバーワンの発行部数 6つの地域版で県内全域をカバー！

地域密着の編集を心がけている福島民報は、特に地域ニュースは「県北版」「郡山版」「県南版」「いわき版」「相双版」「会津版」の6版制をとっています。社会面やスポーツ面などのページもきめ細かな取材で県内の話題、事件事故のニュースやイベント情報が満載です。福島民報社の本社・支社・支局の記者のほかに、共同通信と時事通信からの配信により、政治・経済・スポーツ・文化などあらゆるジャンルで世界から、そして全国から身近なニュースまで網羅しています。県民に一番近い「新聞」です。

地方版エリア及び発行部数

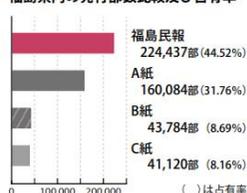
(2021年4月 ABC協会調べ)



福島県

面積 1,3783.90km²
人口 1,814,512人
(福島県企画調整部統計係編「福島県の推計人口」抜粋)
世帯数 744,191世帯
(2021年9月)

福島県内の発行部数比較及び占有率



福島民報社支社局一覧

拠点	電話	FAX	〒	住所	拠点	電話	FAX	〒	住所
本社	(024) 531-4111	(024) 531-4022	960-8602	福島市太田町13-17	本宮支局	(0243) 33-5221	(0243) 33-4536	969-1154	本宮市本宮字畑田87-3
印刷センター	(0243) 24-9230	(0243) 24-9240	969-1513	二本松市小沢字原115-3	石川支局	(0247) 26-2843	(0247) 26-6886	965-7808	石川郡石川町双里字本宮55-5
東京支社	(03) 6226-1001	(03) 5550-0100	104-0061	東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル9階	棚倉支局	(0247) 33-3289	(0247) 33-6765	963-6131	東白川郡棚倉町棚倉字南町177-1
大阪支社	(06) 6345-6317	(06) 6457-3580	530-0003	大阪市北区堂島2-1-43 紀尾ビル5階	田村支局	(0247) 62-2658	(0247) 62-1542	963-7766	田村郡三春町字中町61-2
仙台支社	(022) 225-5754	(022) 261-8267	980-0021	仙台市青葉区中央1-7-20 仙台東邦ビル6階	猪苗代支局	(0242) 62-3206	(0242) 62-2189	969-3121	耶麻郡猪苗代町字芦原64
郡山本社	(024) 932-3155	(024) 925-5098	963-8531	郡山市榮野2-37-24	会津坂下支局	(0242) 83-2506	(0242) 83-0302	969-6564	河沼都会津坂下町字中岩田41
いわき支社	(0246) 23-3232	(0246) 25-7014	970-8026	いわき市平字一丁目-1 ティーフンビル1階	会津美里支局	(0242) 54-6061	(0242) 54-7337	969-6264	大沼都会津美里町字高田甲2809-2 コスモハイッパ棟
会津若松支社	(0242) 27-1511	(0242) 38-2193	965-0804	会津若松市花春町3-1	南会津支局	(0241) 62-3510	(0241) 62-4744	967-0004	南会津郡南会津町田島字谷地甲11-6
白河支社	(0248) 23-2316	(0248) 24-0759	961-0908	白河市大手町11-6 O H Y A ビル1階	勿来支局	(0246) 62-5363	(0246) 63-5662	974-8261	いわき市植田町本町二丁目2-5
伊達支社	(024) 575-2603	(024) 575-2650	960-0611	伊達市保原町字城ノ内77-20	小名浜支局	(0246) 92-3806	(0246) 52-1038	971-8101	いわき市小名浜字大原境西97-11
南相馬支社	(0244) 22-2806	(0244) 23-5223	975-0012	南相馬市原町区三島町2-193	双葉南支局 (旧富岡支局)	(0240) 22-8600	(0240) 22-8601	979-1152	双葉郡富岡町本町2丁目31-1
須賀川支社	(0248) 73-2481	(0248) 76-1893	962-0858	須賀川市栄町271	双葉北支局 (旧浪江支局)	(0240) 34-3511	(0240) 34-2787	979-1513	浪江町幾世橋字六反田22の1 マンションドム六反田1階101号室
喜多方支社	(0241) 22-0320	(0241) 22-7530	966-0835	喜多方市字行作7601-16	相馬支局	(0244) 36-3672	(0244) 35-4209	976-0042	相馬市中村字桜ヶ丘21-2
二本松支社	(0243) 22-1313	(0243) 22-5458	964-0906	二本松市若宮二丁目161-14					
飯坂支局	(024) 542-4006	(024) 542-6394	960-0201	福島市飯坂町字月崎5-9					
川俣支局	(024) 566-3457	(024) 566-5528	960-1428	伊達郡川俣町五百田16-30					

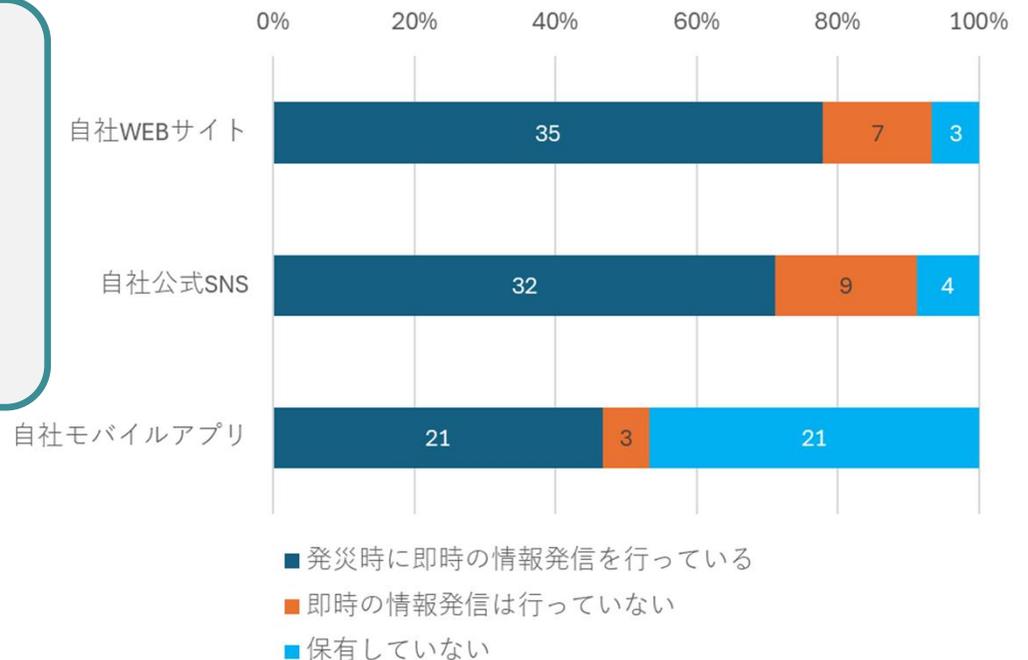
福島県内25拠点のネットワーク網

全国地方新聞社連合会へのアンケート調査

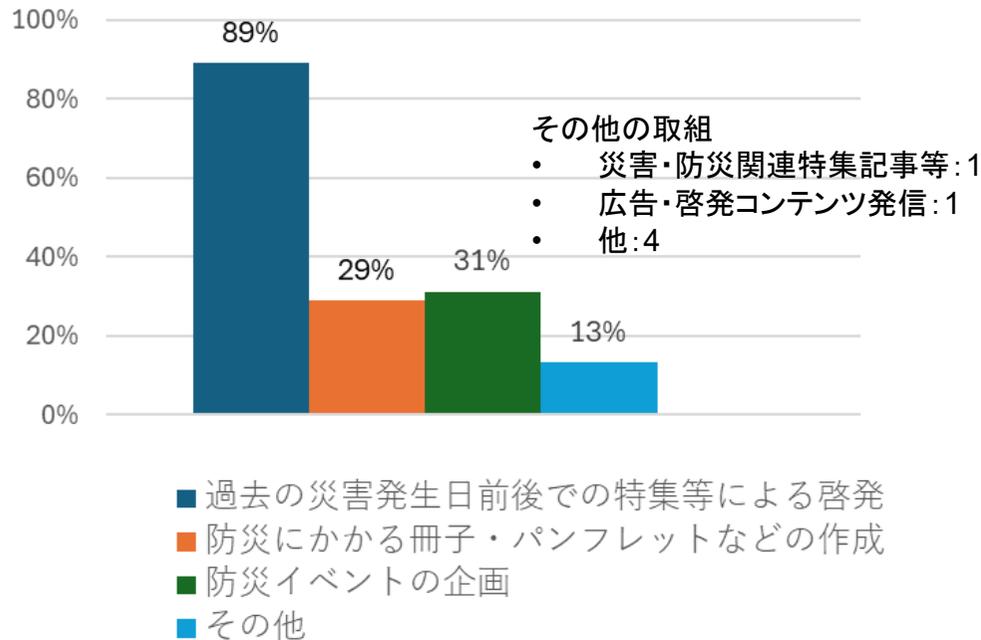
【全国地方新聞社連合会】

- 放送業界と同様に過去災害の周年特集等の取組が多く、その割合も高い
- 新聞社の多くは電子媒体を用いた情報発信プラットフォームを持っており、即時発信も実施
- 国交省の情報発信が記事で伝える際有効との回答が多い

アンケート回答者数: 45

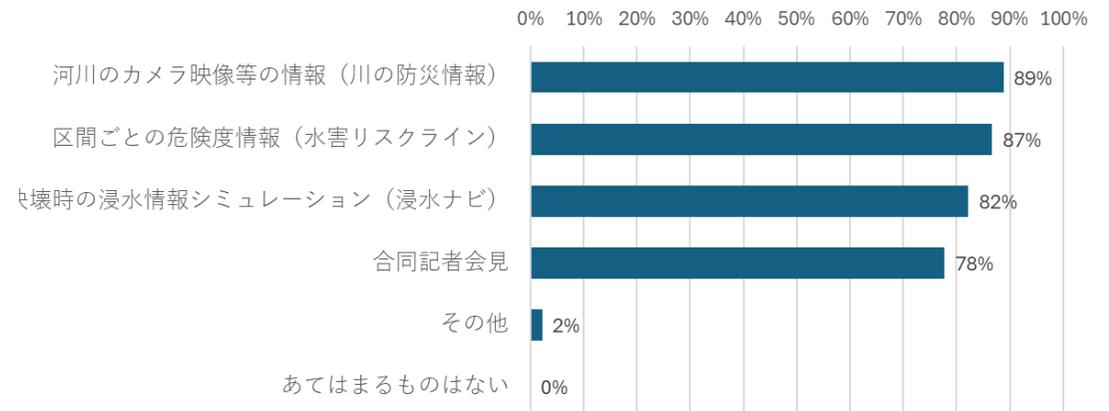


直近3年の関連取り組み



情報発信プラットフォームの保有状況・情報発信状況

記事で伝えるうえで有効だと思うもの



防災気象情報や水災害の啓発に係る情報発信・普及に係るの近年3年の取組実施状況について

記事で伝えるうえで有効だと思う国土交通省が公開している災害時の情報発信対象

全国地方新聞社連合会 会員企業の取組

千葉日報

- ・防災お役立ちファイル:用語解説や避難準備などに必要な情報提供
- ・防災講座のWeb公開



防災お役立ちファイル

突然の災害。まずは深呼吸しましょう。

避難情報の意味

無事を知らせる

災害に備える

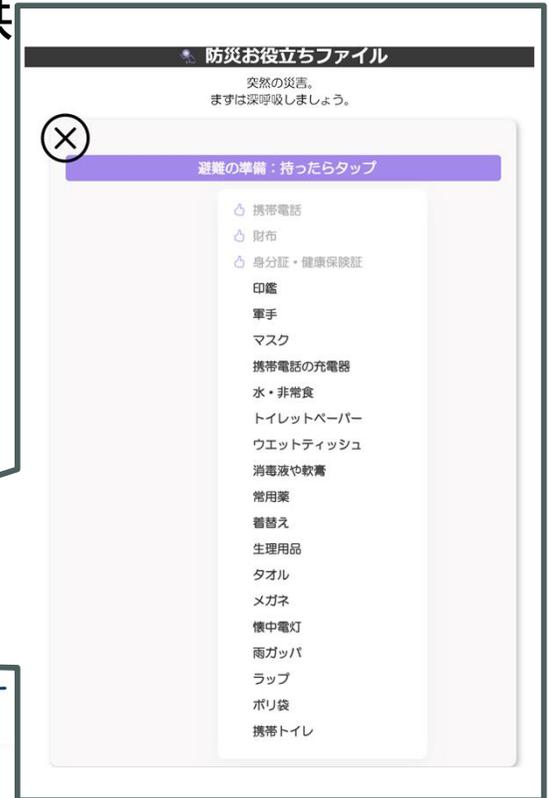
避難の準備

避難生活の知恵

お役立ちリンク集

家を出る前に

支援したい



千葉日報カルチャー

千葉を学べる動画サービス

ホーム / 講座カテゴリー一覧

防災



全国地方新聞社連合会 会員企業の取組

西日本新聞社，佐賀新聞社，長崎新聞社，熊本日日新聞，大分合同新聞社，宮崎日日新聞，南日本新聞社

大分大学減災・復興デザイン教育研究センターとの連携（報道部長や記者が客員研究員として研究に参加など）・九州7紙でつくる「減災未来プロジェクト」への参加

災害は想定して備える時代へ - 「減災未来プロジェクト」発足。減災・復興デザイン教育研究センター【CERD】が監修・協力

2020年8月28日（金）

九州7県の新聞社（西日本新聞社，佐賀新聞社，長崎新聞社，熊本日日新聞，大分合同新聞社，宮崎日日新聞，南日本新聞社）が進める「減災未来プロジェクト」が発足し，本プロジェクトに大分大学減災・復興デザイン教育研究センター【CERD】が監修・協力を行っています。



九州7県の新聞社で構成される九州減災未来プロジェクト実行委員会は，この「減災未来プロジェクト」について，「私たち新聞社は，創刊以来100年以上長きに渡り紙面を通じてたくさんの情報を伝えてきました。今こそ，これまで伝えてきた災害情報を元に，みんなで考え，行動し，明るい未来を届けたい。そんな思いから，九州7県・各地域に根ざした7つの新聞社が手を取り“減災”について考え行動するための活動，減災未来プロジェクトを立ち上げました。私たちの経験と，九州にあるたくさんの知恵，災害を乗り越えようとする前向きな気持ちを集結させることで，どんな災害をも乗り越える大きな力に変えていきたい。「災害多発地域」から「災害対策先進地域」へ。九州は，これからも災害に立ち向かう。そして必ず乗り越える。みなさんと一緒に考え行動する減災未来プロジェクトをはじめます。」と述べています。

このプロジェクト発足にあたり，監修・協力を行っているセンター長・小林祐司（理工学部・教授）は「次世代を担う子ども達のための未来－減災社会－をつくるのは一人ひとりに課せられた義務ではないでしょうか。この「減災未来プロジェクト」を通じ，それぞれができることから取り組み，そして共有していく。そんな機会になればと願っています。」と述べています。

本プロジェクトはインターネット，SNSなどを活用しながら，地域の皆さんへの情報発信，そして共に考える機会を設けていくことにしています。詳しくは以下特設ページをご覧ください。是非ご参加，ご協力をお願いいたします。

公式 Web サイト

<https://gensaimirai.com>

Twitterアカウント

<https://twitter.com/gensaimirai/>

https://www.cerd.oita-u.ac.jp/2020/08/28/gensaimirai_release/

全国地方新聞社連合会へのアンケート調査結果

【全国地方新聞社連合会：記述式ご意見の内容分類】

アンケート回答者数：45

国土交通省が配信する情報でリアルタイム情報に係る対象情報・映像の拡充や、配信方法などに対するご意見・ご要望内容分類

カメラ箇所数増	カメラ高解像度化	河川カメラの動画配信	河川監視目的以外のカメラの拡大	情報の一元配信	その他
2	2	0	1	1	10

《国土交通省アンケート フリーアンサーより》

福島民報社

- ▶地方新聞社は地元を支社支局を張り巡らしており、災害が起きた場合いち早く現場に取材にあたることができます。その情報を吟味し新聞記事に反映しております。
- ▶東日本大震災の際には避難所等に新聞配達もしておりました。

中日新聞社

- ▶新聞社は発行エリアで各地に支局・通信局・通信部を設け、災害発生時はいち早く、きめ細かい報道をしています。
- ▶昨年の能登半島地震の際は輪島通信部など能登半島の記者はもとより、金沢の北陸本社、名古屋本社・東京本社からも記者を派遣して被災地状況の報道をしています。その情報は紙面のみならずいち早く弊社ウェブサイトに掲出するのはもとより、一部のプラットフォームにも提供しています。

西日本新聞社

- ▶近年の災害の激甚化に伴い、新聞配達員の声明を守るため、配達を行わないなどの判断をするケースもありますが、住民の方が避難を余儀なくされている場合に公民館や学校などの避難所に無償で新聞を配達を実施。

業団体加盟企業のご意見・ご要望のニーズの分類

各アンケートの記述式ご意見を上述のニーズに関連するご意見に分類

- 各業界とも、リアルタイム・予測情報へご意見・ご要望が多い

分類	民放連 (n=98)	CATV (n=25)	地方新聞 (n=45)
用語の統一・解説	1	0	0
勉強会・解説資料の充実	7	3	2
メディアと行政の連携強化	6	0	1
提供情報のニーズ (リアルタイム・予測情報)	19	6	5
情報提供方法へのニーズ (網羅性、統一性、一元化、機械可読化)	16	6	1
情報提供方法へのニーズ (パーソナライズ化)	4	0	0
提供手段・対象の多様化	1	0	4
他	6	1	1

(他: 利用状況報告・感謝・地震災害にかかるご意見・配信停止・表示デザインへの意見・等)